

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第2区分
【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公表番号】特表2001-503737(P2001-503737A)

【公表日】平成13年3月21日(2001.3.21)

【出願番号】特願平10-514271

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 31/137

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 5/50

【F I】

A 6 1 K 31/137

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 5/50

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月18日(2004.8.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成 16 年 8 月 18 日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成 10 年 特許願 第 514271 号

2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名 称 アボット ゲゼルシャフト ミット ベシュレンクテル ハ
フツング ウント コンパニー コマンディトゲゼルシャフ
ト

3. 代理人

住 所 東京都港区西新橋2丁目7番4号

ドクトル・ゾンデルホフ法律事務所

電話 03(3503)3303 (代表)

氏 名 (6181) 弁理士 矢 野 敏 雄



4. 補正により増加する請求項の数 0

5. 補正の対象書類名

請求の範囲

6. 補正対象項目名

請求の範囲

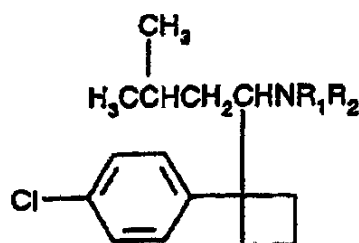
7. 補正の内容

別紙の通り



請 求 の 範 囲

1. 耐糖能障害およびインスリン非依存型真性糖尿病は存在はしないが、その状態発現の危険が増加しているヒトにおけるインスリン耐性を低下するための薬剤の製造における、鏡像異性体および薬剤的に許容できる塩を含む式 I の化合物



〔式中、 R_1 および R_2 は、独立して H またはメチルである〕の使用。

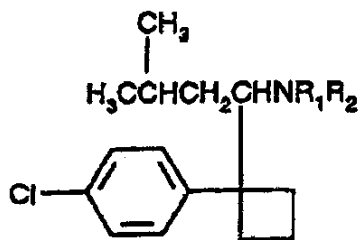
2. ヒトが肥満でない、請求項 1 記載の使用。

3. ヒトが肥満である、請求項 1 記載の使用。

4. 式 I の化合物が N, N-ジメチル-1-〔1-(4-クロロフェニル)シクロブチル〕-3-メチルブチルアミン塩酸塩である、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項に記載の方法。

5. 式 I の化合物が N, N-ジメチル-1-〔1-(4-クロロフェニル)シクロブチル〕-3-メチルブチルアミン塩酸塩一水和物である、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項に記載の方法。

6. 耐糖能障害またはインスリン非依存型真性糖尿病は存在しないが、しかしこのような状態が発生する高い危険が存在しているヒトにおけるインスリン耐性を低下させるための薬剤組成物において、鏡像異性体および薬剤的に許容できる塩を含む式 I の化合物



〔式中、 R_1 および R_2 は、独立してHまたはメチルである〕の薬剂的に許容できる量を薬剂的に許容できる希釈剤またはキャリアーと組み合わせることを特徴とする薬剤組成物。

7. 式 I の化合物がN, N-ジメチル-1-〔1-(4-クロロフェニル)シクロブチル〕-3-メチルブチルアミン塩酸塩である、請求項6に記載の薬剤組成物。

8. 式 I の化合物がN, N-ジメチル-1-〔1-(4-クロロフェニル)シクロブチル〕-3-メチルブチルアミン塩酸塩一水和物である、請求項6に記載の薬剤組成物。

9. インスリン感受性増強剤である薬剤の製造における式 I の化合物の使用。

10. インスリン依存型糖尿病またはNIDDMを有するヒトにより毎日必要とされるインスリンの量を減少させるための薬剤の製造における式 I の化合物の使用。

11. インスリン依存型糖尿病またはNIDDMを有するヒトにおいて長期にわたる多量のインスリン投与により起きる長期的な有害作用の予防のための薬剤の製造における式 I の化合物の使用。

12. 耐糖能障害およびインスリン非依存型真性糖尿病の発現の高い危険を有するヒトにおけるこれらの予防のための薬剤の製造における式 I の化合物の使用。

13. ヒトが肥満ではない、請求項12記載の使用。

14. 黒色表皮腫、妖精症、脂肪組織萎縮症または多嚢胎性卵巢症候群またはインスリン耐性が存在するその他の状態を有するヒトにおけるインスリン耐性を低下させるための薬剤の製造における式 I の化合物の使用。

15. 式 I の化合物および経口インスリン分泌促進剤またはインスリン感受性増強剤から成る、体重および糖尿病状態を改善するためのNIDDM患者の並行治療のための薬剤の製造における式 I の化合物の使用。

16. NIDDM患者における体重および糖尿病状態を改善するための同時、分離または引き続く使用のための組み合わせ調剤として、式 I の化合物および経口インスリン分泌促進剤またはインスリン感受性増強剤を含む製品。

17. 式 I の化合物および経口インスリン分泌促進剤またはインスリン感受性増強剤を、薬剂的に許容される希釈剤またはキャリアーと一緒に含む薬剂的組成物から成る製品。

18. 経口分泌促進剤が、フマル酸 1, 1-ジメチル-2-(2-モルホリノフェニル) グアニジン (B T S 6 7 5 8 2) または、トルブタミド、トラザミド、クロロプロパミド、グリベンクラミド、グリメピリド、グリピジドおよびグリクラジドから選ばれているスルホニル尿素剤である、請求項 1 6 または 1 7 記載の製品。

19. インスリン感受性増強剤が、メトホルミン、シグリタゾン、トログリタゾンおよびピオグリタゾンから選ばれている請求項 1 6 または 1 7 記載の製品。